



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成30年3月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
3月号
2018年
No.183

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

帆船日本丸の「新たな旅立ち」

帆船としては我が国初の「重要文化財指定」 平成31年度に改修予定

帆船日本丸は、1930（昭和5）年の建造以来、文部省航海練習所（戦後は運輸省航海訓練所）の練習船として54年間にわたり日本の船員教育を担い、11,500人の船舶職員を送り出し、日本の海運を支えてきました。

また、戦中は緊急物資輸送、戦後は帰還輸送や遺骨収集航海など社会的にも大きな役割を果たしてきました。1984（昭和59）年の引退後も、横浜港において、青少年への海洋教育や総帆展帆などを大勢のボランティアの協力により34年間継続し、海事思想の普及に貢献して来ました。

日本丸は稀少な戦前期建造の大型帆船であり、保存状態も良く、建造当時の造船技術をよく伝えていることから、平成29年9月15日、海上で保存されている帆船としては我が国初の重要文化財指定を受けました。これに先立ち、平成29年7月17日（祝）海の日には天皇皇后両陛下による行幸啓が行われました。

横浜市では、帆船日本丸の建造100年を目指して保存事業を継続してきました。しかし、これまでは、十分な予算が取れず、大規模な改修作業ができない状態が続いてきました。

今回、重要文化財の指定を受けたことで、国からの助成を受けられるようになり、平成29年度補正予算で、国費4300万円がつけられ、まずはマストを支えるワイヤーや甲板などを改修することになりました。

また、本年度以降も本格改修に向けて、国からの支援を得られる予定で平成31年度には改修できる見通しになっています。松本純としても、横浜のシンボルを守るため横浜市と国と連携を取りながら、保存事業の支援を行ってゆく所存です。



帆船日本丸

【重要文化財に指定された内容】

日本丸	一艘	（所有者 横浜市）
進水年月	昭和5（1930）年1月	
製造所	株式会社川崎造船所製	
船種	帆船（4櫓(ほぼしら)バーク型）	
用途	練習船	
総トン数	2,278.25m	
全長	97.05m	
幅	12.95m	
附	一、文書・記録類	181点
	一、図面類	351点

いま地域で
(人・まち・出来事)

アートでまちの再生！

黄金町エリアマネジメントセンター 理事長 竹内一夫さん(中区)

竹内一夫さんが理事長を務める黄金町エリアマネジメントセンターは2009年の設立以来、アートによるまちの再生に取り組む団体です。地域の魅力づくりを進め、また2008年に「黄金町バザール」を始め、地域の子どもたちを招いたアートイベントや国内外のアーティストを招き制作・発表の場を提供する活動にも取り組んでいます。これらの真摯で地道な交流が評価され、この度2017年度国際交流基金「地球市民賞」に選出されました。地球市民賞は交際交流基金が全国各地で地域に根差した先進的な国際文化交流活動を行う個人や団体を顕彰するものです。また、初音町、黄金町、日ノ出町地区はかつて違法風俗店が軒を連ねていたことでも知られ、まちの再生は地域住民の悲願でした。竹内理事長は初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会の谷口安利会長などと地域浄化にも貢献されました。「アーティストをいかに地域に安住させるかが課題。生まれ育ったところは大切。今後も行政や警察と協力して頑張っていきたい」と語っています。



アーティストたちと竹内理事長(右から二人目)

[2018年 2月]

松本議員の活動記録

- 1日●日本医薬品卸売業連合会・日本薬業政治連盟祝賀会
●予算委員会与党理事懇談会
- 5日●国会対策正副委員長打合せ
- 6日●与党常任・特別委員長、筆頭理事打合せ
- 7日●予算委員会与党理事懇談会

- 役所他説明:バイオミラーの最近の状況等について
- 8日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 9日●自民・立憲民主国対委員長会談
- 16日●横倉義武先生世界医師会会長就任祝賀会
- 18日●楠文代先生学校法人東京薬科大学理事長就任祝賀会



2/4 横浜小売酒販組合磯子支所新年懇親会 ●天沼功支所長から「今、酒販組合は大変厳しい環境にありますが皆さんと団結し、知恵を出し合って頑張りましょう」との挨拶がなされました。



2/6 伊勢佐木町ブルース・フェスタ「青江三奈遺品展」 ●「青江三奈遺品展」が伊勢佐木町クロスストリートで開かれ、多くの人たちが懐かしい歌声や華麗な衣装の展示等に酔いました。



2/12 神奈川県建設業協会小俣務会長の叙勲受章をお祝いする会 ●小俣務氏が旭日小授章を受賞され、松本純代議士は「建設を通して世界の安心安全の暮らしを守って下さい」と祝辞を送りました。



2/17 台湾東部地震による被災者支援募金活動 ●神奈川県日華親善協会が2月6日に発生した台湾東部地震による被災者支援募金活動を中華街で行い、募金446,142円の善意が集まりました。

永田町日記

「予算委員会」って何？

現在、国会で予算委員会が開かれています。予算委員会でもなぜ予算以外の質疑を行うのかという質問をよく受けます。国会には17の常任委員会があり、それぞれ専門分野の質疑を行っています。そして、それぞれの委員会ではその所管大臣が質疑に答えています。しかし、日本の国会には専門をまたぐ委員会がありません。行政には予算が必要であり、予算委員会はすべての省庁と委員会に関係するのです。このため、予算委員会では専門分野を問わない質疑が行えるわけです。その意味では『なんでも委員会』になっているわけです。同時に予算委員会は本会議での採決、決議等の前に行われる最終的な質疑と調整の場でもあるわけです。現在、松本は国会対策委員長代理をさせていただいておりますが、与党を代表して、野党との間で衆議院の委員会の開催日程と主な議題を決めるのが主な仕事であり、国会を正常に機能させることが最大の使命です。



衆議院予算委員会にて